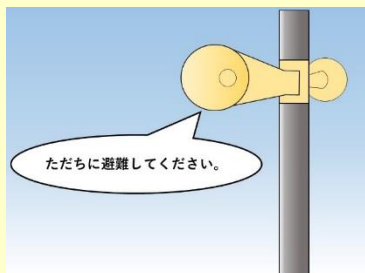
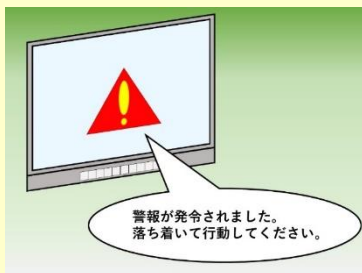


～ 武力攻撃やテロなどから身を守るために～

警報の発令

皆様の安全を守るため、武力攻撃やテロなどが迫り又は発生した地域には、市町村から防災行政無線などのサイレンを使用して、注意を呼びかけることとしています。
そして、テレビ、ラジオなどの放送や広報車両などを通じて、どのようなことが、どこで発生したあるいは発生するおそれがあるのか、皆様にどのような行動をとってほしいのかといった警報の内容をお伝えします。



武力攻撃やテロなどが迫り又は発生した地域において警報が発令された場合に直ちにとっていただきたい行動

屋内にいる場合

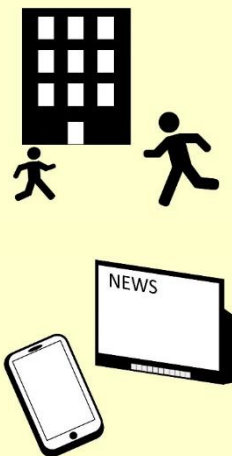
- ドアや窓を全部閉めましょう。
- ガス、水道、換気扇を閉めましょう。
- ドア、壁、ガラスから離れて座りましょう。

落ち着いて情報収集

- 近隣の堅牢な建物や地下施設など屋内に避難しましょう。
- 自家用車などを運転している場合は、できる限り道路外の場所に車両を止めてください。やむを得ず道路に置いて避難する時は、道路の左側端に沿ってキーを付けたまま駐車するなど緊急通行車両の妨げをならないようにしてください。

屋外にいる場合

警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾け、情報収集に努めましょう。



武力攻撃の類型に応じた避難などの留意点

武力攻撃の想定は、国民の保護に関する基本指針において、下記の4つの類型を想定し、国民の保護のための措置の実施に当たって留意すべき事項を明らかにしています。

ゲリラや特殊部隊による攻撃の場合

- 突発的に被害が発生すること考えられるため、攻撃当初は一旦屋内に避難し、その後、状況に応じ行政機関からの指示にしたがい適切に避難しましょう。

弾道ミサイルによる攻撃の場合

- 攻撃当初は、屋内へ避難し、その後状況に応じ行政機関からの指示にしたがい適切に避難しましょう。屋内への避難に当たっては、近隣の堅牢な建物や地下施設などに避難しましょう。

着上陸侵攻の場合

- 攻撃が予測された時点においてあらかじめ避難することも想定されます。
- 避難が必要な地域が広範囲にわたり遠方への避難が必要となるとともに、避難の期間が長期にわたることも想定されます。
避難の経路や手段などについて行政機関からの指示にしたがい適切に避難しましょう。

航空攻撃の場合

- 屋内への避難が広範囲にわたって指示されることが考えられます。屋内への避難にあたっては、近隣の堅牢な建物や地下施設などに避難しましょう。その後状況に応じ行政機関からの指示にしたがい適切に避難しましょう。

